

和光会会報No. 67

—菱電サービス（菱サ）～三菱電機ビルテクノサービス（MELTEC）本社OB会—

◆ 会員だより

会員の金井さんより「トレーラーハウスとログハウスのその後」について投稿頂きましたので次頁にて紹介します。

◆ MELTEC 情報

総務人事部長崎 F B（10/1付関西支社異動）より以下の情報を頂きましたのでご紹介します。

(1) 2020 年度の MELTEC 業績（数字の単位：億円）

No	事業別	完工高	前年度差	P 1	前年度差
1	昇降機新設事業	211.7	-30.0	-88.8	27.5
2	昇降機保守事業	1,994.9	-85.3	195.1	-15.3
3	ファシリティ事業	1,001.5	-131.7	34.4	-19.8
	合計	3,208.1	-247.0	140.7	-7.7

(2) ワクチンの職域接種について

① 首都圏地区

「教育センター」にて第 1 回目：「9/9(木) 9/10(金) 9/16(木) 9/17(金)の 4 日間」「社員及び子会社・協力会社の社員のみ」「723 名（予定では 1,350 名想定）」に接種。第 2 回目は 4 週間後。

想定人数を下廻った理由：接種時期が 9 月中旬と遅くなった。接種場所を遠く感じた。

評価：予約が取りにくい自治体に居住している社員からは「やっと接種ができた」との声有り。

② 関西支社

「関西教育センター」にて第 1 回目：「9/1(水)～9/3(金)の 3 日間」「協力会社含む社員・家族」に対し「約 1,000 人規模」に接種

(3) 「首都圏支社」発足～社内報「ACCESS 2021 年 10/11 号」より～

- 首都圏第一支社・首都圏第二支社は 2016 年 4 月、安全・品質への対応力強化に向けたコントロールスパンの縮小等を目的に、旧東京支社・東関東支社を再編し発足されました。
- 当初目的はほぼ達成されたものの、支社間での調整業務など現組織にも課題もありました。それらの課題解決や一層の収益性改善に向け、首都圏支社再編・統合を実施します。

(首都圏支社統合の狙い)

- ① 支社・支店でより補完し合える生産体制構築による生産力強化（現場ライン部門の支援強化）
- ② 迅速な戦略・施策実行と顧客対応の一元化による販売力等の強化
- ③ 効率的かつ効果的な各種支社教育実施による安全・品質・倫理遵法関連の向上
- ④ 効率的な支社運営・管理体制による利益率の向上（管理スタッフ集約、移転による賃料縮減等）

（再編のポイント：再編にあたっての組織体制）

- ① 支社名「首都圏支社」とする。事務所は「システムプラザ B 館」に設置
- ② 部組織
 - ◎現首一・現首二の支社各部(安・総・経・業・品証・F C)は、それぞれ統合し一本化する。
 - ◎本社資材統括部 首都圏資材部を「資材部」として首都圏支社に編入する。
- ②支店組織 ◎現行の体制を維持する。

◆ 事務局より

(1) 今回は会員の金井さんから頂いた投稿を記事にさせて頂きました。

これからも皆様からの日頃の活動やグループ活動などのお便り・投稿をよろしくお願い致します。できれば原稿はワードで作成し写真などを数点添えてメールでの投稿をお待ちしております。

042-497-9218

sasaki.ken-ichi@jade.dti.ne.jp

2021-10-15 和光会事務局 佐々木 憲一

爺遊楽庵 ～ 孫と私の遊び場～ その始まりと今

この8月、幹事の方より2015年の会報No45ご紹介した「ロフト付き工房ハウスの製作」のその後について、現地に
出かけ取材をしたい旨のご依頼がありました。しかしながら、緊急事態宣言下で県をまたぐ移動自粛を要請されて
いる状況でもあり、家族と相談し、今回は私の投稿により「遊び場」全体の建設経緯や近況を報告させていただく事
となりました。

私は、1973年(S48)に菱電サービス(株)に入社し、九州支社、昇降機本部、情報システム部、監査部、関越支社を経
て、2007年(H19)から2013年(H21)までは(株)菱サBWに籍を置きました。

退職が近くなったころ、退職後はどこかにログハウスを建てて遊びたいと思っていましたので、北軽井沢や赤城周
辺の別荘地を探していましたが、手頃の価格のところは雑木林の奥深いところであつたり、広さが十分ない区画や
管理会社の評判が良くない等、なかなか満足する場所が見つかりませんでした。

ある日ネットで、距離的にも近く環境が素晴らしい別荘地を見つけ現地向けました。そこで気に入った土地を購
入したのが「爺遊楽庵」の始まりです。

現地の環境

爺遊楽庵は、群馬県昭和村の「赤城久呂保高原」にあります。日立金属が管理
する全180区画の別荘地です。標高は750m～800mで昭和の森ゴルフ場(9H)に
隣接しています。

決定ポイントは

- 別荘地内の道路が整備されていること
- ・北軽井沢では、奥まった林の中で未舗装が多い
- 上下水道口が区画内に引き込まれていること
- 自宅から近い
- ・自宅より約60km1時間15分

購入物件

契約日 2007年(H19)/7月
面積 816㎡(約247坪)

購入後区画内の立木を何本か伐採に整地に着手しました。

以後ログハウスの検討を開始しましたが...

トレーラーハウスの購入

この冬は、ログハウスの販売店のある新潟まで行き間取り
や配置など検討を続けましたが、約1年が経った頃、家族が安
いトレーラーハウスが展示場にあるというのでさっそく見学に
行きました。

アメリカ製のトレーラーハウスで、長さ11m×幅3.6m×高さ
4.2mの大型のもので広いロフトが付いているものでした。

付属設備はすぐ生活できるよう、キッチン、冷蔵庫、バス・ト
イレ、ダイニングテーブル、ベッド、ソファベッド、カーテン等
生活に必要な設備がすべて装備されていました。

さらに、魅力的なのはロフトが2つあり、寝るだけなら5～6人
で十分利用できることでした。

ログハウスを建てる気持ちはありましたが、山での暮らしを
いち早く楽しみたい気持ちにかられ即購入を決めました。

契約日 2008年(H20)/8月

トレーラーハウスの搬入

契約後、管理事務所にトレーラーハウスを設置する許可申請と
基礎工事、給排水設備、電気工等を依頼し搬入を待ちました。

2008年9月11日、牽引車にひかれて区画の前まで来たトレー
ラーハウスは、重機を使い3時間余りかけて設置場所に収まりまし
た。

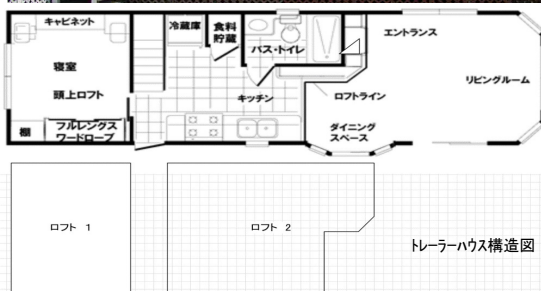


赤城久呂保高原入口



購入区画

2007.11



トレーラーハウス構造図



トレーラーハウスの搬入・設置

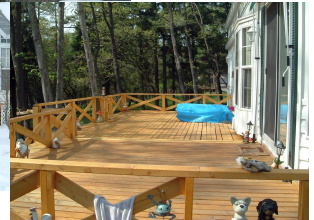


2008.10 遊びのベース完成

その後、プロパンガスや牽引装置のカバー及び出入りするためのテラスを作成し、遊びのベースが完成しました。



2009.2 初めての雪を経験



2009.5 テラスを拡張

トレーラーハウスの内部



出入口付近より後方を見る

ダイニングテーブルとシステムキッチンが並びます
ガスコンロの下には大きなオープンが付いています。
階段の手前に大きなGEの冷蔵庫が付いていました。
階段の奥は寝室になっており大きなダブルベッド
階段を上がると左右にロフト
右の戸棚の奥にはトイレとシャワー室があります。



← ロフト

横になって4人くらいは眠れます。

ビジネスホテルと同じ



寝室ドア付近から前方を見る

右側にガスコンロと流し
奥に見えるのはソファベッド
座部を引き出すと大きなダブルベッドになります。
このほかにロッキングチェアも付いてます。
窓にはブラインドが付いています、

2008年10月に赤城久呂保ベースが完成し、土日はベースに
宿泊し周辺の観光地をめぐる生活が始まりました。子供や孫
も訪れ充実した週末を満喫していました。
建物自体は、2×4構造で断熱もしっかりしており冬の宿泊
も快適に過ごすことができました。

爺遊楽庵の建設

ベースの整備が一段落すると、ハウスを建てたい気持ちが再燃し、2009年5月に2×4による工房の建設に着手しました。
セルフビルドの本を参考に設計し、中古の軽トラックにホームセンターで購入した資材を積んで運び、6年かけて完成しました。

このプロセスは会報No45でご紹介いたしました



楽しい思い出

切り倒した木の整理、夏はプールとバーベキュー、冬の雪の降った日にはそり滑りと、1年を通して甥や姪なども遊びに来ましたが、それぞれの家族が大きくなると共にその機会は次第に少なくなりました。



2010年2月 朝起きたら大雪で、別荘地内の道路も70cm程の積雪です。

当時菱サBWIに在籍中でしたので月曜日に出勤できるか不安でしたが、まもなく道路の除雪が行われ無事帰宅できました。

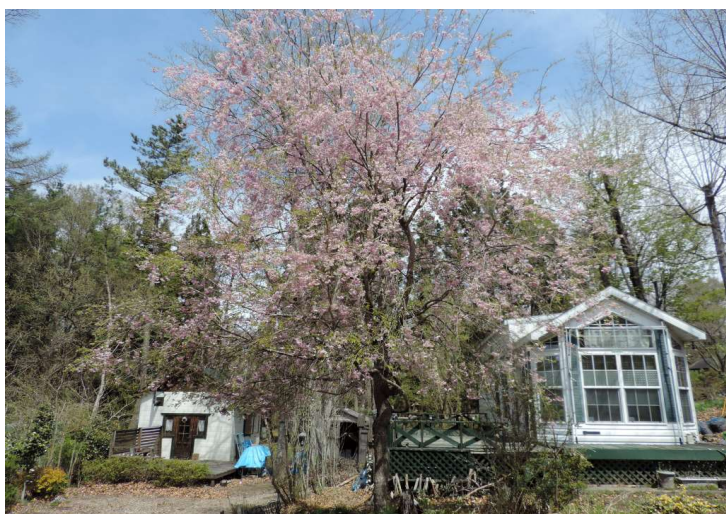
数年前、爺遊楽庵の軒先にスズメバチの巣が出来て駆除してもらいました。

それから毎年春先には、しだれ桜の枝にトラップを置いています。誘引液はファンタグレープ2、酢1、日本酒1の割合です。

ほぼ毎週チェックすると十数匹入っており、巣は出来なくなりました。



爺遊楽庵の今



2021.4 春 建物全景

10年ほど前は2m程だったしだれ桜は今では10mほどの高さになり、毎年きれいな景色を見せてくれます。

しかし、ベランダの木材の傷みがひどく、大改修が必要な時期に来ています。

周囲の樹木も背が伸びたため、台風時に倒木の恐れもあり、数本切り詰めを行いました。

昭和ICのそばにある道の駅に貸農園があり、2013年から継続して借りています。

宿泊することはほとんどなくなり、土日どちらか午前中貸農園で作業し、ここで昼食後庭の手入れや落ち葉の掃除を行うのが休日のルーチンになっています。

平日午前中は、実家の小さな畑と、近所に借りている畑の農作業です。よって週の大半は畑仕事の毎日です。又、その間を見つけて趣味で集めた物の整理などをボチボチやっています。

身体的には高脂血、痛風、高血圧、糖尿と成人病(老人?)と付き合いながら何とか生きています。去年の12月には不整脈で、心臓にカテーテルを入れ原因となる異常電気信号を焼き切る手術を受け現在正常な状態になっています。今年頑張って8kg程痩せました。(見た目はさほど変わりませんが)

ワクチン接種率の高まりと共にコロナの第5波が収束しつつあるように思えますが、昨年も9月以降収束し今年の春夏再び感染が拡大してきています。規制緩和になったとしても「3つの密の回避」「マスクの着用」「手洗いの徹底」を守りましょう。

以上近況報告まで 金井敏幸